

高校2年探究英語

【仮説】

科学分野に関するさまざまな題材の英文を読む一方で、日本語独特の表現をできるだけ易しい英文で表現する練習を重ねることにより、「読解力」や「表現力」を育成できる。また、英語を発信する際の音声を重視してアクセントや発音を繰り返し練習することによりできるだけ正確な音声で発信できる力を身に付けることができる。

【実施概要】

授業期間 通年（平成26年4月～平成27年3月）

時間 週1時間

対象生徒 文系高校2年1組 理系高校2年6組

授業での取組

（1）読解力の育成

様々なテーマを扱う英文を読み、日本語訳だけでなく、要旨やテーマを読み取り、論旨について考えるトレーニングを行った。

尚、扱った英文テーマは以下の通り（下線は科学・国際関連分野のテーマ）

エネルギー問題、暦の歴史、日本人とガイジン、昔の若者、カルチャー・ショック、少年と少女の行動の違い、内的時間と外的時間、日米文化の違いに学ぶ、裕福な国と貧しい国、お茶の歴史、絶滅する動物たち、オペラは裕福な人たしのものか、燃料電池、Eメールとプライバシー、テロリズムとは、メディアと政治、フランスの出生率向上、栄養

（2）表現力の育成（下線は科学・国際関連分野のテーマ）

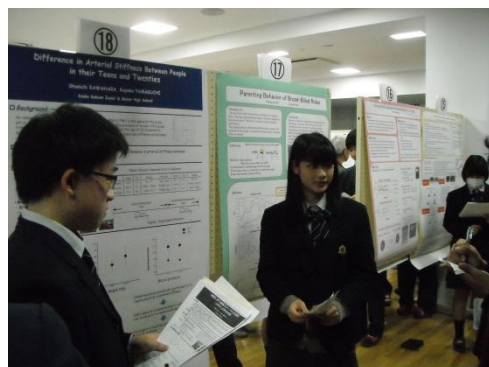
様々なテーマに対し、できるだけ優しい英語に、相手に意味を伝えることを念頭に置いて訳すことを考えた。尚、扱ったテーマは以下の通り

天気、学校生活、家庭生活、健康、旅行、比較文化、歴史伝統、

（3）発表力の育成

探究ゼミで研究した課題研究の内容を英語のポスターにして発表することに取り組んだ。日本語を英訳するだけでなく、質疑応答の練習、発音指導、非言語によるジェスチャー指導、発表指導を行った。

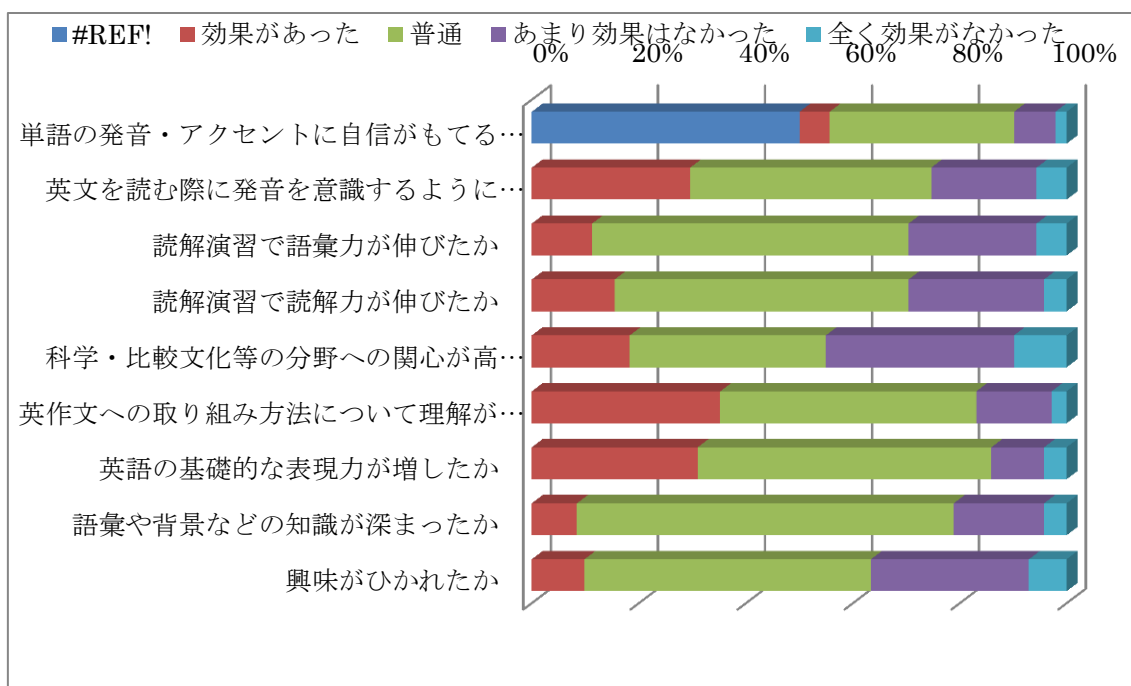
《11月中間発表の様子》



【評価＜生徒アンケート＞】

授業を実施した2クラスについて、学習を通して語彙力・読解力・表現力などが高まったかに関して、以下のような項目について質問した。

1. 単語の発音・アクセントに自信がもてるようになったか
2. 英文を読む際に発音を意識するようになったか
3. 読解演習で語彙力が伸びたか
4. 読解演習で読解力が伸びたか
5. 科学・比較文化等の分野への関心が高まったか
6. 英作文への取り組み方法について理解が増したか
7. 英語の基礎的な表現力が増したか
8. 語彙や背景などの知識が深まったか
9. 興味がひかれたか



【担当者の評価・感想】

週1時間の授業の中で、さまざまなジャンルの英文を読んだ。発音の基礎基本（口の形から舌の位置まで）の提示から練習に至るまで、大きな声を出す練習を繰り返した。その他、和文英訳の前段階に和文和訳の練習を行い、日本語の論理と英語の論理の違いを考えながら表現力を高める練習を行った。また、自分が課題研究に取り組んだ内容を英語に訳し、発表する練習を行った。授業の枠組みを超える指導の中で、発表する経験から英語での表現に意義を感じる生徒もいる中、まだまだ声が小さいなど今後の課題も新たに増えてきた。